

NEW OKUNO HOSOMICHI・YAMAGATA 新・奥の細道

一周ルート

③

出羽の国を偲ぶみち

Dewano kunio shinobu michi



山形県

周辺のアクセスガイド

- 八幡町までは
・庄内空港からバスで70分。
・JR酒田駅からは、バスで25分。
- 酒田市までは
・庄内空港からリムジンバスで20分。



観光・宿泊のお問合せ	八幡町観光協会 〒999-02 八幡町観音寺下ノ下41	☎0234-64-3111
	酒田観光協会 〒998 酒田市中町2丁目5-10	☎0234-24-2233
交通のお問合せ	庄内交通酒田バスターミナル 〒998 酒田市幸町2-11-1	☎0234-24-7600
	JR酒田駅 〒990 酒田市幸町1-1-1	☎0234-22-4102
コースのお問合せ	八幡町企画商工観光課 〒999-02 八幡町観音寺下ノ下41	☎0234-64-3111
	酒田市観光物産課 〒998 酒田市本町二丁目2-45	☎0234-26-5759
	山形県自然保護課 〒990 山形市松波2-8-1	☎0236-30-2204

表紙の写真は八幡神社

GUIDE

みどころ案内

湯の沢霊泉

Yunosawa-reisen

舞鶴公園、八森自然公園の入り口にあり、道路の側ということから、連日早朝から深夜まで水汲みの人々の行列ができる。癖のない飲み口が受け、水割り、お茶、炊飯に利用されている。



湯の沢霊泉

Hachimori-sizenkoen

八森自然公園

桜の名所として、4月中旬からの桜のシーズンには、近隣市町村から花見客が訪れる。また、フィールドアスレチック、野球場、テニスコート、グラウンドゴルフコース、ゴルフ練習場も整備され、大人から子供まで楽しめる。

スポーツ施設のほかに、キャンプ場、バンガローがあり、夏休みにはここを基地として海水浴、ハイキングが満喫できる。

露天風呂のある八森温泉でスポーツの汗を流すのもいい。(H8・8月オープン)

休憩施設の八森荘にはジンスカンハウスもあり昼食に利用したい。デザートのアイスクリームもさっぱりしている。

◆八森荘/☎0234-64-3775 ◆総合案内施設/☎0234-64-3083



八森自然公園展望台

八幡神社

Hachiman-jinja

元慶元年(877年)出羽の国の宮司小野義実が山城国石清水八幡宮の御分霊を奉遷してこれを奉ったと伝えられている。八幡町の町名は八幡神社に起因し、荒瀬川畔の老杉生い茂る森の中に鎮座している。

◎追儺祭

1月6日早朝から氏子の人々がねじり木を持って集まり、ねじり木で拝殿の床を打ち厄を祓うものであり、江戸時代中期から行われている神事である。

◎例祭

5月1日流鏝馬、奴振りが行われる。
◆八幡神社/☎0234-64-2666



八幡神社

普門院の石仏群

Fumonin-no-sekibutsugun



普門院の石仏群

正保4年(1647年)に真言宗の寺院として創立。のちに曹洞宗に転宗し現在に至っている。

普門院の66体の石仏群は、大阪府など近畿地方の「西国三十三観音」と庄内地方全域に散在している「庄内三十三観音」から土をもたらってきて観音像の下に安置したもので、明治44年に完成した。

◆普門院/☎0234-64-2490

このみちの周辺には、八幡神社をはじめ、出羽の国を偲ぶ由緒ある神社仏閣があり、平安時代の出羽の国府跡である城輪柵跡、八森遺跡や、国分寺と推定される堂ノ前遺跡などから、ここが出羽の国の重要な場所であったことが偲ばれ、千年以上も前から開けていた庄内の歴史と古代人の足跡を見ることが出来る。

荒瀬川河畔には、四季の移ろいごとに草花が咲き誇り、八森自然公園ではいろいろな運動施設で遊ぶことができる。このみちは、歴史と自然が調和したルートである。

※出羽の国とは現在の山形県と秋田県

八森遺跡

Hachimori-iseki

出羽の国府(酒田市城輪)が、大地震と津波の被害が大きいとの理由で、仁和3年(887年)朝廷に国府の移転(遷府)を願い出た。そこで朝廷は、遷府にあたっては近くの高台を選び、材料は古材を用いることを条件に遷府を命じた。そこで一時的に移されたのが八森遺跡と言われている。八森遺跡の発掘調査は、昭和52年から平成4年まで14回にわたって実施されてきた。

◆お問い合わせ/八幡町教育委員会 ☎0234-64-3111

堂ノ前遺跡

Donomae-iseki

大正の初め、水田から数本の柱根が浮き出され、昭和30年には土地改良工事に伴って出土品が収集されたが、考察が加えられないまま工事が施行された。

その後山形県教育委員会が昭和49年から4カ年7次の発掘調査を実施している。

平安時代に属する巨大な建物跡群とそれを囲む板塀等による計画的な区画が発見された。国指定史跡。

◆お問い合わせ/八幡町教育委員会 ☎0234-64-3111



堂ノ前遺跡

城輪柵跡

Kinowasaku-ato

国指定史跡城輪柵跡は酒田市の市街地北東約8kmに位置する総面積52万㎡の広大な遺跡で、平安朝の初め、貞観7年(855年)に出羽城輪の神に従五位下を受けたという記録が残っている。

遺跡自体は昭和初期からの発掘で柵木が壊々と発掘され、「奈良朝政府の出羽の柵」「国分寺」等色々な説があったが、戦後何度かの発掘と研究により、平安時代の初めから終わりまで約400年間にわたる国府跡だろうと言われている。

平成元年から国の補助を受け、3年の歳月をかけて政庁南門・東門及び築地塀の一部を実物大に復元された。

現在では毎年8月上旬に「国府の火まつり」と称して、かがり火の中、国内外の郷土芸能を上演するイベントも開かれている。国指定史跡。

◆お問い合わせ/酒田市教育委員会文化課 ☎0234-26-5777



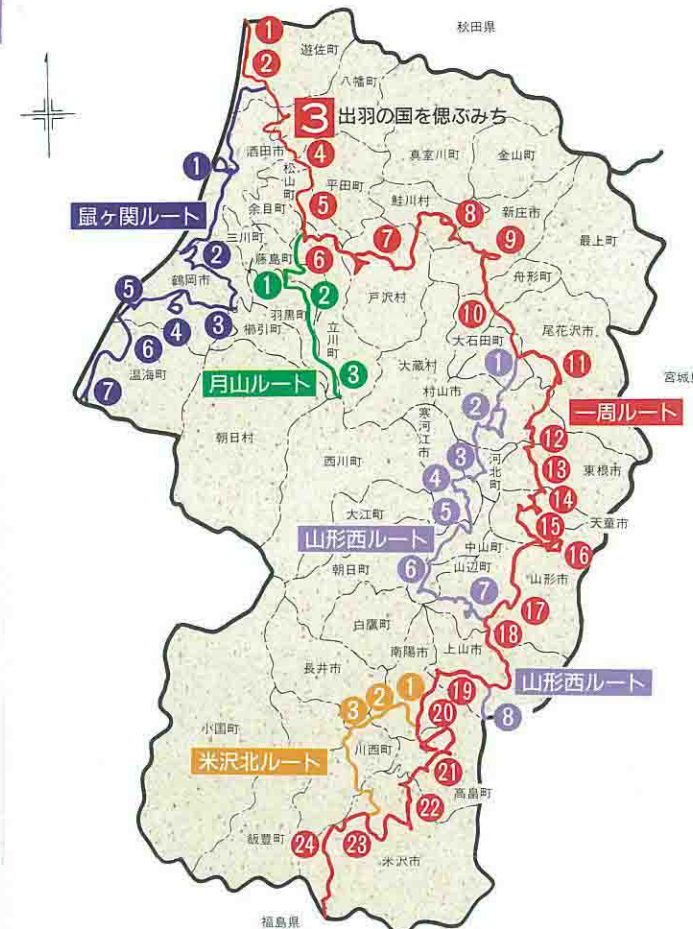
政庁南門



国府の火まつり

YAMAGATA MAP

東北自然歩道(新・奥の細道)ルート図



“新・奥の細道”とは

自分の足でゆっくり歩きながら、森や川、野鳥や虫など豊かな自然にふれあい、また、その地域の特色ある文化や歴史と親しむためのみちです。

“新・奥の細道”は正式には東北自然歩道といいます。この自然歩道は、一日で歩ける程度の遊歩道を1つのコースとして、コースの間をバスなどでつなぎながら東北を一周する長距離自然歩道です。そして、この道は福島県白河を起点とし、宮城、岩手、青森、秋田、山形の順で経由して福島県郡山に至るルートになっています。

また、この“新・奥の細道”は東北を一周するルートの他に、景観の優れた地域や名勝地等に向かうルートがあります。県内でも、月山ルート・鼠ヶ関ルートなど4つのルートがあり、山形県内のルートをあわせた総延長は45コースで792kmとなっています。

この“新・奥の細道”を楽しむために

1. コースのみどころ、地形、距離をあらかじめ調べて、余裕のある日程を組みましょう。
2. 歩きやすい服装で、荷物は最小限にとどめましょう。
3. 天気予報に注意して、天気のいい日を選んでゆっくり歩きましょう。

この3つを守り、友人と、家族と、さあ出発!

おねがい

- ・ゴミは捨てないで持ち帰りましょう。
- ・たばこの投げ捨てや、山火事には十分注意しましょう。
- ・案内板や休憩所はみんなのもので、大切にしましょう。
- ・美しい自然は、人間だけのものではありません。草花や虫たち、小鳥たちのためにも自然を汚さないようにしましょう。
- そして、美しい自然を後世まで伝えていきましょう。

このみちは、年金積立金還元融資を受けてつくられました。